



2022年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年1月14日

上場会社名 株式会社さいか屋 上場取引所 東
 コード番号 8254 URL https://www.saikaya.co.jp/
 代表者 (役職名) 取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 山野井 輝夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 村田 功治 (TEL) 046 (845) 6803
 四半期報告書提出予定日 2022年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第3四半期の連結業績(2021年3月1日~2021年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	10,070	△5.3	△295	—	△400	—	△405	—
2021年2月期第3四半期	10,636	△22.2	△536	—	△594	—	△660	—

(注) 包括利益 2022年2月期第3四半期 △491百万円(—%) 2021年2月期第3四半期 △642百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	△89.13	—
2021年2月期第3四半期	△211.69	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第3四半期	11,952	524	4.4
2021年2月期	11,213	514	4.6

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 524百万円 2021年2月期 514百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	—	—	0.00	0.00
2022年2月期	—	—	—	—	—
2022年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日~2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	△13.3	△480	—	△600	—	△604	—	△129.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年2月期3Q	4,970,314株	2021年2月期	3,135,314株
② 期末自己株式数	2022年2月期3Q	15,857株	2021年2月期	15,763株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年2月期3Q	4,546,722株	2021年2月期3Q	3,119,745株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(重要な後発事象)	7
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8
4. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年3月1日～2021年11月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい状況が徐々に緩和されつつあるものの、引き続き持ち直しの動きに弱さが見られます。先行きについても経済活動が正常化に向かう中で景気が持ち直していくことが期待されますが、新型コロナウイルス感染症の再拡大による内外経済に与える影響に充分注視する必要があります。

百貨店業界におきましては、高額商材の販売が好調に推移した他、新型コロナウイルス感染に伴う2021年9月30日の緊急事態宣言の解除に加え、主要顧客向け施策が奏功したこと、気温低下により秋冬商材の動きが好調であったことなどから、全体的に回復基調にあります。なお、入店客数においてはコロナ禍以前の水準には至っていない状況です。

このような状況の中、当社におきましては、2021年10月5日開示「2022年2月期～2024年2月期 さいか屋営業指針について」に記載の基本方針(店舗成長戦略の策定、顧客満足の最大化、ローコストオペレーション、経営資源[人材、資源]の最大活用)を実現するための四大改革(営業改革、外商改革、人事制度改革、後方部門改革)と親会社AFC-HDアムスライフサイエンスとのシナジー効果による業務改善の実現に向け全社を挙げて取り組んでまいりました。

営業面におきましては、歳暮商戦がコロナ禍における絆消費、日頃会えない方へのギフト需要増により順調であったことに加えECサイトが好調に推移し全体を引き上げました。おせち・クリスマスケーキの予約におきましては、巣ごもり需要の高まりにより、好調な立ち上がりとなっております。

横須賀店では、2021年10月20日に「娯楽の殿堂 さいか屋e STAGE」、「サロン・ド・AFC」、「100円ショップ Seria(セリア)」がオープン、お客様から好評を得ております。藤沢店では、2021年9月30日の緊急事態宣言解除により、オケージョン需要の高い服飾雑貨・衣料品の売上高が回復基調にあります。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言解除後の外出自粛の緩和はあるものの、入店客数はコロナ禍以前の状態には戻らず、第3四半期連結累計期間の売上高は全店舗で計画を下回る結果となりました。

一方、費用面においてはローコストオペレーションを推進させ各種経費の削減に努めるとともに、効果的な経費運用に引き続き取り組みました。更に前年度に実施した希望退職に伴う人件費の減少も加わり、販売費および一般管理費の合計は、前年同四半期比87.5%となりました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は10,070百万円(前年同四半期と比べ565百万円の減収)、営業損失295百万円(前年同四半期は営業損失536百万円)、経常損失400百万円(前年同四半期は経常損失594百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失405百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失660百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態に関しましては、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、主に増資等による現金の増加により、前連結会計年度末に比べ738百万円増加し11,952百万円となりました。

負債は主に長期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ728百万円増加し11,427百万円となりました。

純資産は主に資本剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ9百万円増加し524百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績等に基づき検討した結果、2021年8月26日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	861,791	1,537,765
売掛金	484,617	515,621
商品	383,180	430,746
貯蔵品	35,796	44,049
その他	181,056	227,490
流動資産合計	1,946,442	2,755,672
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,129,948	3,064,381
土地	4,563,475	4,563,475
リース資産(純額)	16,630	13,293
その他(純額)	31,549	32,129
有形固定資産合計	7,741,604	7,673,280
無形固定資産		
その他	7,960	17,194
無形固定資産合計	7,960	17,194
投資その他の資産		
投資有価証券	316,734	217,792
敷金及び保証金	944,357	961,565
破産更生債権等	12,630	12,573
長期前払費用	194,250	264,372
その他	61,970	61,970
貸倒引当金	△12,150	△12,270
投資その他の資産合計	1,517,793	1,506,004
固定資産合計	9,267,358	9,196,478
資産合計	11,213,800	11,952,151

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	25,869	15,493
買掛金	1,327,592	1,226,442
短期借入金	1,590,000	-
1年内返済予定の長期借入金	67,305	-
未払法人税等	6,766	10,169
商品券	548,073	531,776
賞与引当金	12,977	20,367
商品券回収損引当金	627,644	632,139
ポイント引当金	27,863	36,515
事業構造改善引当金	60,528	-
その他	739,397	389,834
流動負債合計	5,034,016	2,862,737
固定負債		
長期借入金	5,044,465	8,030,000
繰延税金負債	9,398	-
退職給付に係る負債	385,184	299,539
資産除去債務	161,471	163,405
リース債務	13,669	10,808
その他	51,007	61,285
固定負債合計	5,665,196	8,565,038
負債合計	10,699,212	11,427,775
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,945,290	2,195,768
資本剰余金	1,637,078	1,887,556
利益剰余金	△3,045,913	△3,451,175
自己株式	△43,183	△43,222
株主資本合計	493,272	588,926
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,315	△64,550
その他の包括利益累計額合計	21,315	△64,550
純資産合計	514,588	524,375
負債純資産合計	11,213,800	11,952,151

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年11月30日)
売上高	10,636,458	10,070,756
売上原価	8,482,691	8,012,478
売上総利益	2,153,766	2,058,278
販売費及び一般管理費	2,689,839	2,353,428
営業損失(△)	△536,072	△295,150
営業外収益		
受取利息	60	61
受取配当金	2,733	2,398
雇用調整助成金	33,382	-
商品券等整理益	-	1,520
投資有価証券売却益	-	1,374
その他	13,356	1,924
営業外収益合計	49,532	7,279
営業外費用		
支払利息	99,127	62,343
資金調達費用	-	26,961
株式交付費	-	19,316
その他	8,656	4,439
営業外費用合計	107,783	113,060
経常損失(△)	△594,323	△400,932
特別損失		
投資有価証券評価損	5,108	-
事業構造改善費用	56,643	-
特別損失合計	61,752	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△656,075	△400,932
法人税、住民税及び事業税	4,337	4,329
法人税等合計	4,337	4,329
四半期純損失(△)	△660,413	△405,262
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△660,413	△405,262

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
四半期純損失(△)	△660,413	△405,262
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,146	△85,866
その他の包括利益合計	18,146	△85,866
四半期包括利益	△642,267	△491,128
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△642,267	△491,128
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年5月26日付で、株式会社AFC-HDアムスライフサイエンスから第三者割当増資500百万円の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ250百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が2,195百万円、資本準備金が1,219百万円となっております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響等に関する会計上の見積り

2022年2月期第3四半期におきましては、9月度までは緊急事態宣言の影響で売上が伸び悩み非常に厳しい状況でしたが、10月に緊急事態宣言が解除されたあとは売上高が回復、赤字幅が縮小しております。前年度実施した希望退職に伴う人件費の減少や外注費の抑制で経費率も改善、支払利息の低減と合わせ、利益構造は確実に改善されてきております。

上記のような状況から、新型コロナウイルス感染症の影響については、当連結会計年度いっぱい続くと見込んでおりますが、今後、3回目の予防接種や飲み薬の開発等で徐々に影響もなくなることを予想、2022年度以降には売上高が回復すると仮定しております。

このため、固定資産に関する減損損失及び継続企業の前提に係る将来の資金繰りの検討においては、上記の過程に基づいて将来キャッシュ・フローの見積りを行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

(継続企業の前提に関する重要事象等)

当社グループは、前会計期間の決算日において、引き続き営業利益以下赤字の状況が続いていることから、継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象または状況が存在しております。売上高については新型コロナウイルス感染症の影響が年度内は継続するという前提で見通しを立てておりますが、5月に実施した増資および6月に実施した既存金融機関から株式会社AFC-HDアムスライフサイエンスへの借入金借換（第1四半期後発事象）により調達した資金にて十分な流動性を確保しております。

また、業績下方修正における売上高見通しを更に保守的に見積もった売上高も堅調に推移し、それに伴い今後1年間の資金繰り見通しについても安定して推移することが見込まれることから、引き続き財務基盤は安定しているものと判断しております。

以上より前会計期間と同様、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

4. 補足情報

(1) 連結売上高の内訳

	前第3四半期 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)		当第3四半期 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)		前年増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
㈱さいか屋	10,626,474	97.1	10,061,047	91.9%	△565,426	94.7%
アルファトレンド㈱	310,382	2.8	348,122	3.2%	37,739	112.2%
㈱さいか屋友の会	10,053	0.1	5,182	0.0%	△4,870	51.6%
小計	10,946,909	100.0	10,414,352	100.0	△532,557	95.1%
内部売上高の消去	△310,451	—	△343,596	—	△33,144	110.7%
合計	10,636,458	—	10,070,756	—	△565,702	94.7%

(2) 店別売上高(単体)

	前第3四半期 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)		当第3四半期 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)		前年増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
藤沢店	5,729,441	55.7	6,117,483	63.0	388,042	106.8
横須賀店	3,943,477	38.3	2,966,127	30.5	△977,349	75.2
川崎店	617,457	6.0	627,294	6.5	9,836	101.6
小計	10,290,375	100.0	9,710,905	100.0	△579,470	94.4
テナント及び手数料収入	336,098	—	350,141	—	14,043	104.2
合計	10,626,474	—	10,061,047	—	△565,426	94.7

(3) 商品別売上高(単体)

	前第3四半期 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)		当第3四半期 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)		前年対比・増減	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
衣料品	2,349,068	22.8%	2,241,816	23.1%	△107,252	95.4%
身回品	909,324	8.8%	864,713	8.9%	△44,611	95.1%
雑貨	1,491,139	14.5%	1,476,054	15.2%	△15,085	99.0%
家庭用品	301,617	2.9%	234,833	2.4%	△66,784	77.9%
食料品	4,743,796	46.1%	4,323,879	44.5%	△419,917	91.1%
食堂・喫茶	187,256	1.8%	183,422	1.9%	△3,834	98.0%
その他	308,175	3.0%	386,188	4.0%	78,013	125.3%
合計	10,290,375	100.0%	9,710,905	100.0%	△579,470	94.4%